ブラッシュアップレター 第10号 2014年4月28日 発行

Brush Up Letter

神戸大学医学部附属病院 D&N plus ブラッシュアップセンター

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 TEL 078-382-5266 E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

2014年2月~4月の主な活動

全体			
2月	25日	第2回 運営委員会	
3月	1日	佐賀大学医学部附属病院 フォーラム参加	
	29日	地域医療活性化センター へ引っ越し	
4月	1日	新規採用職員合同研修 撮影	
	1日	平成25年度センター パンフレット発行	
	18日	地域医療活性化センター 開所式	
医師			
4月	1日	育児・介護復職者支援 短時間勤務医員 4名採用	
	全10日	研修医ミーティング・ 1年目研修医オリエンテー ション 撮影	
看護師			
4月	2日	看護部 採用 オリエンテーション 撮影	
	22日	看護部長講話 撮影	

〔4/1〕新規採用職員合同研修



4月1日、新規採用者 約360名を迎え「新規 採用職員合同研修」が 行われ、D&Nplus ブ ラッシュアップセン ター 錦織センター長 (皮膚科教授) より、 当センターの概要説 明、PRを行いました。 様々な職種の方々に広 く周知しました。

2014年5月~6月活動の主な予定

全 体			
6月	未定	第1回 運営委員会	
医 師			
5月	全7日	研修医ミーティング・ Clinical Problem Solving集中 セミナー 収録	
6月	未定	ママドクカフェ開催予定	
	全8日	研修医ミーティング 収録	
看護師			
		未定	

【4/】 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター1階に

4/18 地域医療活性化センターの開所式が行われました



3月29日、7年間在中していた第1病棟1階の小部屋よ り、神戸大学医学部附属地域医療活性化センター1階に移 転し、4月1日より移転オープン致しました。以前は手狭 なため、落ち着いて対応することが難しい面もあり窮屈 な思いを持たれたことと思います。今度は小さなお子様 連れでも、ゆったりとベビーカーのままご入室頂くこと

ができ、授乳室も準備致しましたので気を使わ れることなく落ち着いてご利用頂けます。

プライバシーに配慮した相談スペースや、ご 自由に講義収録コンテンツや医療端末をご利用 いただけるスペースもご用意しています。べ ビーベッドも準備し今後キッズスペースも充実



していく予定ですので、以前にも増してお子様連れでもゆったりとご来室頂 きお話を伺えることと思っています。 病院から少し遠くなり、勤務時間内 にご来室頂くのは難しいかもしれませんが、どうぞお気軽にお越しください



また、4月18日16:00~地域医療活性化セン ターでは開所式典が行われ、地域医療活性化 センター長、医学部長、病院長、神戸大学 長、兵庫県知事等来賓によるテープカット。 その後2階多目的研修室で院内外の大勢の来 賓方にご参列頂いた

中、開所式・センター内覧会が行われ、神緑会館多目 的ホールにおいて開所祝賀会が行われました。

【お願い】地域医療活性化センターの開館時間は平日8:30~17:15 となっております。左記以外の時間はセキュリティがかかってお りご自由に入館頂くことはできません。またブラッシュアップセ ンタースタッフ不在の場合もございますので、ご来室の際には事 前にご連絡を頂きますようお願いいたします。



講義収録コンテンツの閲覧について



研修医ミーティング等、配信中の講義収録コンテンツが従来のkosmic端末 に加え、病院HP・神戸大学大学院医学研究科HP学内専用ページより閲覧い ただけるようになりました。院内でのご利用にはログインID・パスワード が必要です。また、院外(ご自宅)からのご利用は、従来通りブラッシュアッ プパークへのご登録が必要です。院内専用ログインID・パスワード発行に ついてやブラッシュアップパークへのご登録の詳細は、D&Nplus ブラッ シュアップセンターまでご連絡お願いします。

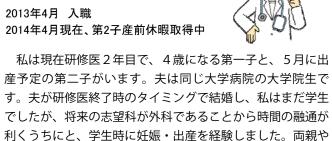
先輩ママ紹介:研修医

第10号となる今回は、研修医2年目でただ今産休中の医師、 子育てをしながら研修医として学び、診療に当たりと多忙極 める中、初期研修最後の年を迎えられます。また、子育て中 のママナースの方にはママナース会開催の模様をご寄稿頂き

初期研修医2年目

石田苑子 先生

2013年4月 入職



義両親は遠方におり、夫婦二人だけでの子育ては本当に大き

な決断でした。事前に保育所やベビーシッター、神戸市の

ファミリーサポート制度などをよく調べ、幸い友人たちの援

助にも恵まれ、多くの人の助けを借りて勉学と子育て、そし て現在は研修生活と子育てを両立できております。職場も理 解ある方たちばかりで、時には先輩医師として、時には先輩 ママさんや先輩パパさんとして、夫婦共々お世話になってお 4歳の長女の子育てに費やしてきた時間は、そう多くない かもしれません。しかし、保育所の保育士さんや、ベビー シッターさん、ファミリーサポート制度の会員さん、友人や

ご近所さんたち、本当に様々な方に愛情いっぱいに育ててい

ただき、我が娘ながら素直で、たくましく、元気いっぱいに

育ってくれています。自分一人で子育てをしていたら、こん

......

ました。子育てや介護をしながら働く工夫やその楽しさ、厳 しさなどのお話をこれからも男女を問わず掲載していきたく 思っています。ご意見、ご希望がございましたら当センター までお寄せください。

なに多くのことを娘にしてあげられた自信はありません。

医師としても母親としてもまだまだ未熟ですが、経験か ら考えますと、自分の意思をなるべく外に発信し、多くの人 に相談したり、助けていただいたりすることで、自分も家族 も幸せな日々を過ごせるのではないかと思います。まわりに 迷惑がかかる、結婚されてない方に不公平になる、という後 ろめたさもあるかもしれません。しかし、必ずしもそのよう な形でしか子育てはできないというわけではないと思いま す。案外身近に、本当は何か力になりたいと思っている、自 分も昔子育てで苦労した、今まさに同じ状況だ、明日は我が 身、というような人がいます。自分から発信する事で、いろ んな意見を交わし、それを職場や将来の後輩たちに還元でき ることもあると思います。

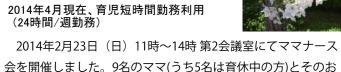
結婚、出産は本当に人生において大きな決断です。女性は どうしても仕事や生活がペースダウンしてしまいます。しか し、何かを諦めるということではなく、自分にしか作れない 家庭、自分にしかできない仕事などを模索することで、輝け る場があると私は信じています。男性も子育てをしてみる と、案外楽しかったり、考えが変わったり、成長できたり と、新しい発見があるかもしれません。今後もブラッシュ アップセンターを始め、多くの方々と交流を持ちながら、仕 事と家庭の両立方法を模索していけたらと思っております。 そして自分の経験が少しでも他の方々のお役に立ちますよう (2014年3月寄稿)

〔2/23〕 ママナース会 開催

(現) 10階北病棟 小栗 広恵さん

1997年 入職

2014年4月現在、育児短時間勤務利用 (24時間/週勤務)



子様たち8名が集まってくださいました。 現役ママナースの方々は、勤務先が外来、病棟、また勤務形態 も時短、育児時間、フルタイムとそれぞれ違いましたので、

いろいろなお話を聞かせていただくことができました。

復帰前の方は春の復帰に向けて、勤務時間をどうするか、復 帰先の部署がどうなるか、子供が病気の時はどうするのか、病 棟での勤務とはどんなものなのか、などといった心配事や質問 があり、先輩ママナースがそれぞれに対し自分の経験をもとに アドバイスされていました。病児保育の場所や使用方法、また 利用する上でのコツなどを伝授されていました。卒乳、断乳に ついて、寝かしつけについてこんな本を読んで実践してみたら よかったよ、といった情報交換や効率よく家事をこなす方法に ついてなど、忙しいママならではのアイデアがあふれたトーク

が繰り広げられていました。その他、二人目のタイミングや 小学校や学童のこと等々・・・話題は尽きませんでした。

また現役ママナースの方で、病棟で勤務されている方たち からは、病棟での働き方について聞くことができました。現 在は病棟に1人だが、時短の方がもっと増えると働きやすく なるのではないか、子供の行事や病気で休みをもらうこと、 業務内容や帰宅時間に配慮していただくには周囲のスタッフ 特に上司からの理解が重要であると話されていました。ま た、部署に子育て経験者の方がいると相談に乗ってもらえ、 心の支えになっていると話されていました。

今日の会で聞いたり話したことが、参加されたみなさまそ れぞれにとって、今後の働き方を考える上でのよい参考に なったのではないかと思います。

今後もママナースのみなさまが、いきいきと輝き誇りを もって、仕事にやりがいを感じながら働き続けていけるよう に、またそんな仲間がもっと増え後輩たちにとってよいモデ ルとなれるように、活動を続けていきたいと思います。今回 は参加できなかった方も、次回はぜひご参加くださいね! (2014年3月寄稿)